

令和6年度大学改革シンポジウム共同開催のご挨拶 「地域と国の発展を支え、世界をリードする国立大学！！」



一般社団法人 国立大学協会
会長 永田 恭介（筑波大学長）

令和6年度大学改革シンポジウムの共同開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

国立大学は、法人化から今年で20年になります。法人化以来、各大学では特色ある教育研究や社会貢献活動を行うなど個性豊かで魅力ある大学になるよう工夫を凝らし、成果を上げてまいりました。また、創設以来、世界最高水準の教育研究の実施や重要な学問分野の継承・発展、すべての都道府県に設置され全国的な高等教育の機会均等の確保、グローバル人材の育成、といった役割を担ってきました。これからも国立大学は、我が国の研究力の源であって、我が国全体の、そして各地域の文化、社会、経済を支える中核拠点であり、産業、教育、医療、福祉などに十全の責務を負っていく覚悟です。さらなる高度人材の養成や、災害や感染症等に対応するレジリエントな社会の構築、地域社会とグローバル社会の牽引等、我が国の輝ける未来を創り出すために、国立大学は努力を続けていきます。皆様のご理解と共感、そして力強い協働を頂きますと幸いです。

「大学改革シンポジウム」は、国立大学協会が平成20年度から経費や広報の一部を支援し共催しているもので、国立大学が教育・研究のみならず、新たな取組や展望を広く市民の皆様を紹介し国立大学の役割の重要性や存在意義についてご理解いただくために開催するものです。国立大学は、こうした機会での地域の方々との対話を通じて、皆様方のご期待に応える大学を目指し一層努力してまいります。

本日の大学改革シンポジウムは、開催大学のご尽力により魅力ある内容となりました。本シンポジウムが参加された皆様にとって意義あるものとなりますことを祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

当協会は平成22年度から「国立大学フェスタ」と銘打ち、10月～11月の2か月間に各国立大学が地域と連携しながら実施するシンポジウムやオープンキャンパス、公開講座、市民講座などの様々な活動を集中的に皆様方に紹介しております。「大学改革シンポジウム」もこの「国立大学フェスタ」の一環として活動を展開することにより、国立大学の今を、地域、社会、産業界等、広く国民の皆様にご理解いただけるよう努めてまいります。

